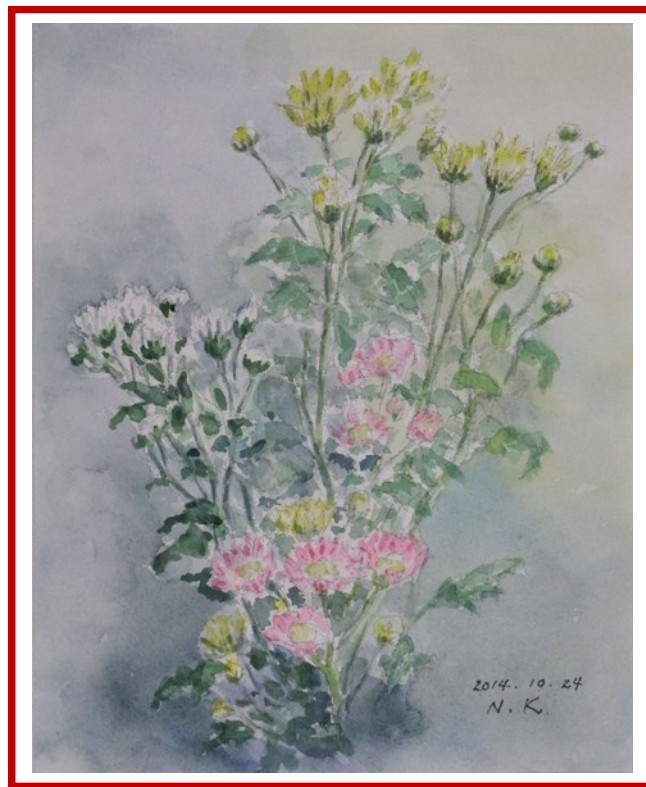


特集 コロナ禍でのインフルエンザ



〈小菊〉 名誉院長 栗原直嗣 作

感染症から院内を守る「感染管理認定看護師」

シリーズ 薬剤師さん、どうして？

認定・専門薬剤師について / 認定看護師のご紹介

水彩歳時記 / ご意見・ご要望 / 年末年始のご案内 / 編集後記

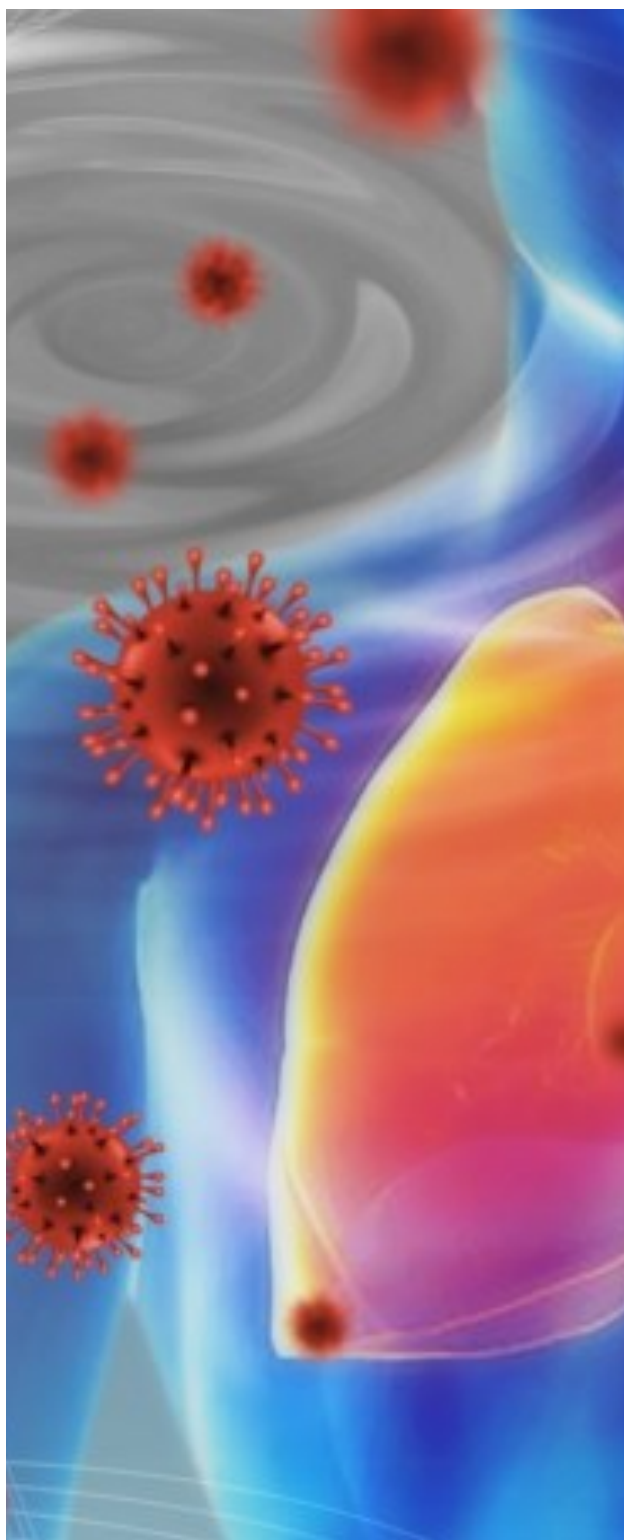
【病院のご案内】

- ◆受付時間 平日 / 午前8:45～午前11:30 午後1:00～午後3:30
土曜 / 午前8:45～午前11:30
※自動再来機は午前8:30～受付しています。
※予約変更については、平日午後1:30～午後4:30まで受付しています。
- ◆休診日 日・祝・12月30日～1月3日
- ◆面会時間 一般病棟 平日 / 午後2:00～午後8:00 日・祝 / 午前11:00～午後8:00
HCU 午後2:30～午後3:30 午後7:00～午後8:00
※病状によってはお断りする場合があります。



〒544-0004 大阪市生野区巽北3-20-29
TEL 06-6758-8000(代表)
<http://www.ikuwakai.or.jp>

特集

コロナ禍での
インフルエンザ

2020年は新型コロナウイルス(以下COVID-19)によって医療界、経済界のみならず社会全体が変革を余儀なくされました。COVID-19の感染対策とインフルエンザの感染対策は同じです。この冬にすべきことは今までどおり手洗い、マスク装着を徹底していただいたら大丈夫かと思えます。

インフルエンザ、COVID-19は飛沫感染が主体ですが、今年のCOVID-19でわかったことはエアロゾルを介しても感染するという事です。エアロゾル感染は飛沫感染と空気感染の間ぐらいのものと思っていただけたらいいかと思えます。空気感染を起こす代表的な病気は結核です。

飛沫のみを介してインフルエンザはうつるのかというところではありません。環境表面に付着していることもあります。これもCOVID-19が流行しだしたときにニュースでよく報道されていたのでご存知の方も多いかと思えます。インフルエンザは凹凸表面であれば8~12時間、平滑表面では24~48時間は感染力がある状態で付着しています。COVID-19はプラスチック表面やステンレス表面では72時間まで確認されたとあります。COVID-19や類縁のMERS,SARSコロナウイルスはインフルエンザと比較して環境中により長く残存するようです。

「外から帰ったらまず手を洗おう」というのは、「誰が触ったかわからない箇所に触れて手にウイルスがついているかもしれないから、きちんと手を洗いましょう」ということなのです。ウイルスが付着した手で食べ物等を食べてしまったら感染が成立してしまう場合もあります。

いつCOVID-19が終息するのか、しないのかは誰にもわかりません。第一次世界大戦の最中に流行した「スペイン風邪」は、全世界で2000~4000万人も死者がでて、6億人が感染したといわれています。このスペイン風邪の正体は今の季節性インフルエンザです。毎年冬になると流行し、人類は共存の道歩んでいます。おそらくCOVID-19も同じようになっていくのではないかと考えております。できるだけ密を避け、手洗い、マスクをして可能なかぎり予防していくしか共存の道はないのではないのでしょうか。

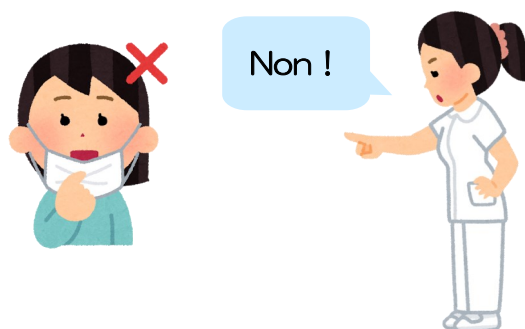
感染症から院内を守る
「感染管理認定看護師」



2006年に感染管理認定看護師という資格を取得し、はや14年がたちました。患者さまや職員を感染から守るといのが使命ですが、この間にはいろいろな新しい感染症が起きました。

2009年新型（H1N1）インフルエンザ、2012年MERS（中東呼吸器症候群）、2013年エボラ出血熱、ジカ熱、そして今回の新型コロナウイルス感染症です。また、古くからある結核は今もありますし、抗菌薬が効かない耐性菌も増えてきました。ますます感染対策の重要性を日々実感しています。

特に今回の新型コロナウイルスは、2009年の新型インフルエンザよりも大きなパンデミック（世界的流行）になりつつあります。感染対策と言えは何をするのかと思われるでしょうが中身は地味で、どの感染症にも有効で基本的な「手をきれいにする、マスクや手袋などの正しい装着脱」などをいつでもできるようにし、院内をチェックしています。普段できないことがパニックになった時にできるはずがありません。また、普段からしていなければ新型コロナでなくても他の感染症が蔓延する可能性があります。



新型コロナは私たちの生活行動も変えてしまいました。『三密を避ける』『手指消毒』『マスク』『体調不良時の速やかな休息』という日常生活の感染対策はこれからもなくならないでしょう。

来院される方にも体温測定やマスクの着用、面会制限などの対策をしています。これからも安全に医療を提供できるよう医師や薬剤師、検査技師など他の職種ともチームを組み、院内全体で感染対策に取り組んでいきます。引き続き来院される皆様方にはご理解・ご協力をお願いします。

感染管理認定看護師 佐々木富子



の～てんき

食欲の秋！食べ過ぎないでー！



天高く馬肥ゆる秋と言いますが、涼しくなって栄養価の高い食べ物が美味しくなってきました。食べ過ぎてしまい、その分スポーツで消費しよう！なんて甘い事を考えていませんか？かくいう私もそうでした。「あともう一つ食べちゃえ！その分明日の朝、たくさん走るから良いや！」なんて思っていた頃があります。ですが、これが大間違い！少しスポーツをしている人が陥りやすい失敗なのです。食べ過ぎて過剰に取ったカロリーをスポーツで燃焼させる事は、トップアスリートでない限り無理なのです。



お母さんのチーズケーキのカロリーは？

(材料 8切れ分)

クリームチーズ	250g	865 Kcal
バター	25g	186
砂糖	45g	174
小麦粉	40g	147
卵	2個	154
生クリーム	大さじ3	195
牛乳	大さじ1	10
りんご	1個	115
レーズン	適量	—
レモン汁	少々	—

計 1846 Kcal
ひと切れ 約230Kcal



ふむふむ...



一般的には260Kcalくらいって言うから
お母さんのチーズケーキは少しヘルシーでした！

ちなみに... 其他のお菓子も調べてみました！



イチゴショート
344Kcal



チョコレートケーキ
310Kcal



シュークリーム
290Kcal



桜餅
100Kcal



豆大福餅
164Kcal



三色団子
126Kcal

うさぎさんのお母さんが作ったチーズケーキは一般的な材料、作り方です。一切れで230Kcal！これは35分間のジョギングのカロリーに匹敵します。もちろん、同じ動作をしても性別、年齢で異なってきます。またケーキも使う糖分、果物などの材料でカロリーはずいぶん変わります。

ですが、運動するから食べても平気、という考え方は危険です。食べ過ぎない事を常に心がけましょう。もっとも、つい食べ過ぎてしまった時は…ゴロゴロと寝転んでテレビ見てるより、体を動かした方が遥かに良いのは当然です。



スポーツで消費するカロリー量 (参考)



ジョギング
30分
210Kcal



ウォーキング
(早歩き)
20分
100Kcal



水泳
30分
180Kcal



エアロビクス
30分
150Kcal



◆◆ 認定・専門薬剤師について



感染制御認定薬剤師・感染制御専門薬剤師

感染制御を通じて患者さまが安心・安全で適切な治療を受けるために必要な環境の提供に貢献するとともに、感染症治療に関わる薬物療法の適切かつ安全な遂行に寄与するために感染制御に関する高度な知識、技術、実践能力を持つ薬剤師として専門機関に認定された薬剤師を「感染制御認定薬剤師・感染制御専門薬剤師」といいます。



COVID-19感染症の流行を機に、一般の方の感染症に対する注目度が一気に高まり、感染症対策や消毒は皆さんの一番の関心事となったのではないのでしょうか。



感染症とは？

感染症とは原因微生物・宿主・感染経路が繋がって成立する疾患であり、病院内のほぼすべての診療科で起こりうる疾患です。また感染症は原因微生物が伝播することから、一医療施設内にとどまらず施設を広く超え地域全体に感染が拡大し、地域全体の“リスク”となりえます。



お仕事内容



消毒薬の管理

消毒薬には、正しい濃度、正しい使用方法で使用しなければ期待した効果が得られません。それどころか誤った使い方をすると、健康被害が出たり、機材が壊れてしまったり、消毒が出来ておらず感染が伝播したりしてしまいます。院内で消毒薬が正しく使用されているか、使用量が十分か常に目を光らせています。

抗菌薬の管理

患者さまひとりひとりに体格の差や肝臓、腎臓の機能の差があります。それぞれの患者さまに最適な薬剤が選択されているか、投与量は問題ないか、血中濃度モニタリングを行い薬物動態に基づいた支援を行っています。抗菌薬が適正に使用されることで世界的問題となっている多剤耐性菌出現の抑制、抗菌薬の温存に繋がっています。また、病棟薬剤師からの感染制御に関わる相談にも応じており、指導的役割も果たしています。

当院では医療関連感染の発生を未然に防止し、発生した感染症が拡大しないように対策を設置し、職員教育や環境整備などをICT（感染対策チーム）が行い、発生した感染症に対し効果的治療を目指すとともに多剤耐性菌の出現を防止するための介入をAST（抗菌薬適正支援チーム）が行っています。

ICT、ASTともに医師、看護師、検査技師、薬剤師で構成され、それぞれが専門知識と技術を活かして活動を行っています。当院では、感染症専門医、感染制御認定看護師とともに感染制御認定薬剤師が上記活動に参加しています。



これから寒くなりインフルエンザなど感染症が多くなる季節になります。

感染症における薬物療法だけでなく、消毒薬や感染予防に関する事など疑問に思うことがあればお気軽に薬剤師にお声かけください。



認定看護師のご紹介

下記の認定看護師が新たに在籍しておりますのでご紹介いたします。

福島聡美（皮膚・排泄ケア認定看護師）

私は2019年3月より循環器病棟とフットケア外来を兼務させていただいております。循環器、糖尿病に罹患されている患者さまにおいてフットケアは非常に大切です。下肢潰瘍は難治性創傷とも呼ばれ、完治するまでとても時間がかかり、さらに患者さまの努力も不可欠となります。出来る限り自分の足で最後までしっかり歩けるよう、異常の早期発見、早期治療が行えるよう患者さまを中心に医師、スタッフと共にケアを行うことを担っております。



丸田洋美（救急看護認定看護師）

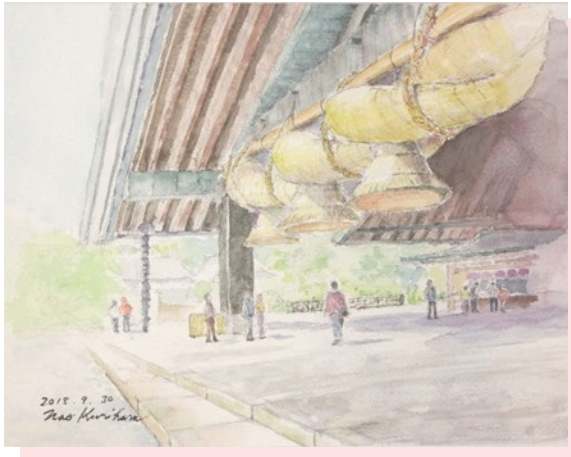
超高齢化社会を迎え、高齢患者さまの救急搬送が増えています。また高齢者の独り暮らしや老老介護など、患者・家族を取り巻く環境も大きく変化しています。しかし高度医療により救命が容易となり、望まない延命も生み出されているのではないかと…。緊迫した状況下で、少ない情報量と限られた時間の中「その人らしい生き方」とは何かを医療者は家族と共に考えていく必要があります。救急看護認定看護師として個々の患者の状況に応じ、患者・家族が望む医療ケアについて最良の看護援助を提供していくことが大切な役割だと考えています。



名誉院長の水彩歳時記



六十の手習いで水彩画をはじめ折に触れて気ままに描いております。
気まぐれながら傘寿の今日まで描き続けられていることに感謝するこの頃で
す。素人の拙い絵ですが、ひとときでも目をとめて頂ければ幸いです。



名誉院長
栗原 直嗣

昭和13年生まれ
平成10年に育和会記念病院院長として就任
平成25年より名誉院長就任

◆◆◆ 出雲大社拝殿の大しめなわ ◆◆◆

出雲大社といえば“縁結び”をすぐ連想しますが、古事記に語られている大国主神(オオクニヌシ)による出雲の国作り・国譲りの話は読むたびに想像が膨らみます。60年に一度の大遷宮が平成20年から行なわれ拝殿の大しめなわも新ためられました。神話の世界に入っていきような素晴らしいパワースポットでした。

« 神話は面白いですよ »

Guide

ご意見・ご要望

▶ご意見▶歯ブラシや洗面具を販売して欲しい。
一人暮らしで、緊急入院の時に準備できなくて困った。

回答▶院内に売店がないため入院に必要な物品は病院に隣接するローソンに品揃えしていただいておりますが、单身の方や緊急時に対応できるよう、病院での販売準備を進めております。貴重なご意見ありがとうございました。



年末年始の外来診療は

令和2年12月30日（水）～令和3年1月3日（日）

まで、休診いたします。

※ただし、救急の場合は24時間体制にて対応いたします。

Postscript

編集後記

当院では患者さま向けに「なごみ」を3ヶ月に1回発行しております。誌面についてご意見・ご感想がございましたら、総合受付前のご意見箱およびホームページのお問い合わせフォームにてお聞かせください。皆様からのお声を心よりお待ちしております。

--*-*-* 次回なごみの発行は2021年2月です *-*-*-*-*